



田尻さくら通信

宮城県田尻さくら高等学校 〒989-4308 大崎市田尻沼部字中新堀 137 <https://tajiri-hs.myswan.ed.jp>

第11回田尻さくら高校卒業式

令和2年度の卒業式が令和3年3月1日(月)10時から本校体育館にて挙行されました。

今回で11回目となります。体育館は昨年の夏から続いていた全面改修が2月中旬にやっと終わり、何もかもが真新しい体育館で、華やかな服装の卒業生が巣立っていきました。

コロナ禍で斉唱ができないため、初の試みとして国歌と校歌は音楽担当の江草重男先生による独唱としました。先生の歌唱は卒業生への力強いエールとなり、式典は例年にもまして感慨深いものとなりました。昨年是在校生が参加できませんでしたが、今年は十分距離をとりながら、保護者、在校生、教職員で、たくましく成長した3年次30名、多年次2名の旅立ちを祝福しました。



コサージュ制作

本年度も卒業生が、ばらのコサージュの制作に取り組みました。

利府町の野崎先生を講師に迎え、ソフトクレイという特殊な樹脂粘土を使った粘土工芸で、掌や指を使いながら花びらを何枚も作って仕上げていきます。手作業に難航していますが、一枚一枚心をこめて丁寧に作り、それぞれ個性が光る“世界にひとつだけの花”ができあがると喜びの笑みがこぼれました。卒業式には、各々の胸元で咲き誇り、その後感謝の気持ちとともに保護者に贈られました。



キャリアインサイト

2月17日から3日間、ハローワーク古川にて「キャリアインサイト」を行いました。これは来年就職を希望している2・3多年次生を対象として、自分が向いている職業、職種などをハローワークの方と相談するという催しです。

30人ほどが参加し、ハローワークの就職支援ナビゲーターの方と熱心に相談していました。



「高校生のための 親になる備え」講演会

2月24日(水)、宮城大学教授を講師にお招きし「高校生のための親になる備え」と題して、2年次を対象に御講話いただきました。

さまざまなお話と、出産劇、妊婦体験、赤ちゃんだっこ体験を通して、生徒たちは多くのことを知り、発見し、自分の将来について真剣に考える機会となる、とても実りのある講話となりました。

《生徒感想より》

- ・ 私は親になるためには、パートナーと協力していくことが必要になっていくということの大切さを改めて実感しました。女性だけでなく男性も協力して育児をしていくことでさらに、生まれてくる赤ちゃんに愛情をあげることができると感じました。
- ・ 妊婦さんになると、ひとつひとつの動作が大変で腰痛になりやすいと教えていただいたので、もし見かけたて困っていたら、勇気をだして声をかけてみようと思いました。



NPO 法人ハーベストによる トークフォークダンス

2021年2月18日(木)田尻さくら高校2F 大教室にてNPO 法人ハーベストの方の司会により『トークフォークダンス』が行われました。

生徒が社会人を相手に1分と言う短い時間で、相手を変えて次から次へと自分の考えを話し、コミュニケーション能力を育む講座です。生徒は、楽しんで講座に取り組んでいました。



年金講座

2月19日(金)、3 多年次生向けに年金講座を行いました。近い将来に納める年金は、定年後だけではなく、障害が残った時や働き手が亡くなった時といった万が一の場合に生活を支える重要なものであることや、法的に納める義務があることなどをDVDの視聴を通して学びました。

生徒たちは自分に関係する内容として真剣に話を聞き、「大切なものだと分かった」、「将来のためにも納めようと思った」などの感想を残していました。



令和3年度のさくらギャラリー展示予定

- 4月 美術Ⅱ・イラストレーション表現受講生徒作品の展示
- 5月 俳句・短歌短冊と山野草展
- 6月 「私のお勧めしたい本」ポップ作品展
- 7・8月 七夕書道展



令和3年度も多様な展示を計画していますので、どうぞご期待ください。

編集後記:さくら高校が開校して13年経ち、4月から新たな14年目がスタートします。